



士会だより



「令和5年度 兵庫県理学療法士会 表彰」

兵庫県学術大会

巻頭言

p. 2

表彰

p. 3-5

PTSからPTになって

p. 6-7

子ども同伴アンケート

p. 8-11

各部だより

p. 12-13

INFORMATION

p. 14

行動録

p. 15

数珠繋ぎ

p. 16

巻頭言



日本理学療法士協会・県士会に加入・所属する意義

一般社団法人兵庫県理学療法士会
常務理事 成田 孝富

会員の皆さまは、なぜ我々の職能団体である日本理学療法士協会・兵庫県理学療法士会に加入されましたか？私が新人の頃、恥ずかしながら先輩に勧められたり、同僚も加入したから何となく自分も…といった軽い気持ちで、特に目的や思いを持って加入した訳ではなかったことを記憶しております。今になって、愚かだったと反省しております。

そんな私ですが、所属の責任者となり、また2021年度から県士会の理事にもなり、その立場と責任感から若い理学療法士に加入・未加入の理由を聞く機会があります。「高い会費に対してメリットを感じない。毎年2万円をドブに捨てているようなもの。」、「同じような研修は他でも受けられるし、加入する意味ってあるのですか？」等々、辛辣な意見が返ってきます。しかし、よくよく聴いてみると、返ってくる答えは協会・士会に求める見返りばかりです。確かに安くない年会費を支払っているのに、見返りを求めたくなる気持ちは分かりますが、果たしてそれだけで良いのでしょうか？

“職能団体”をインターネットで検索すると、「職能団体とは、専門的資格や技術や知識を持つ専門職の従事者らが、自己の専門性の維持・向上、専門職としての待遇や利益を保持・改善したり、専門職同士の親睦や互助を行なったり、専門職の団結による社会的提言や社会貢献、研究などの活動を行うための組織である。(Wikipediaより)」と記されています。この説明文で私の目に留まったのは、①専門職の従事者ら、②専門職としての待遇や利益の保持・改善、③専門職の団結による社会的提言や社会貢献、の3つです。国家資格である理学療法士なのだから社会からの信頼は高いはずと高を括るのではなく、また職能団体から与えられるものを待つだけではなく、②③に示されていることを常に意識して活動していく必要があると考えます。また、これらを個人のレベルで活動していくには、どうしても限界があります。理学療法士の社会的地位や名誉を確立し、またそれらを元に社会的提言や社会貢献を行なっていくには、やはり組織が必要になります。日本は民主主義国家ですので、組織の力が必要です。そして、言うまでもなくその組織には数が必要であります。①専門職の従事者とあるように、理学療法士の資格を持ったのなら皆が一致団結してさまざまな活動をしていく必要があると考えます。

是非、今一度、会員の皆さま一人ひとりが日本理学療法士協会・県士会に加入・所属する意義を考え、もし私の意見にご賛同いただけるのなら、未だ加入されていない理学療法士やこれから理学療法士になろうとしている学生たちに、理学療法士という職業の未来を作り上げていくためにも協会・士会への加入を勧めていただき、ともに考え活動しようとお声かけいただけたらと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年度 兵庫県理学療法士会 表彰

おめでとうございます!

令和5年度兵庫県理学療法士会定時総会にて、26名の方が表彰されました。
長く県士会の仕事にご尽力いただきありがとうございます。



写真後列左から 川見 大作、佐々木 貴哉、金岡 啓、水田潤史
写真前列左から 樋笠 重和、間瀬 教史会長、小森 昌彦、庄司 和行

【功労賞】

足立 千秋 (丹波市立こども発達支援センター)
小森 昌彦 (兵庫県民局但馬長寿の郷)

【奨励賞】

松永 梓 (有限会社しえあーど)	金岡 啓 (さんだりハビリテーション病院)
栗野 直樹 (岡本病院)	舘 謙太 (尼崎訪問看護ステーション)
野島 由香 (入江病院)	三野 貴裕 (入江病院)
宮崎 真一 (ときわ病院)	樋笠 重和 (大原病院)
相坂 宗利 (ツカザキ病院)	反橋 浩二 (佐用中央病院)
水田 潤史 (株式会社PLAST)	和田 真明 (三田市民病院)
國廣 澄仁 (東浦平成病院)	小寺 達也 (明石同仁病院)
梶原 和久 (兵庫医科大学病院)	福林 秀幸 (神戸総合医療専門学校)
川見 大作 (公立豊岡病院組合立朝来医療センター)	
石井 裕之 (姫路ハーベスト医療福祉専門学校)	
井上 晃良 (姫路市総合福祉通園センタールネス花北)	
沖田 任弘 (関西総合リハビリテーション専門学校)	
庄司 和行 (西宮協立リハビリテーション病院)	
寺谷 明正 (訪問看護ステーションラビットケア)	
古谷 育子 (独立行政法人国立病院機構姫路医療センター)	
佐々木 貴哉 (やす整形外科クリニック)	

日本糖尿病協会賞(理学療法士部門) 受賞



市立伊丹病院
医療技術部医療技術室リハビリテーション担当 主幹
永嶋 道浩(ながしま みちひろ)先生

【資格】

専門理学療法士(内部障害)
日本糖尿病療養指導士(CDEJ)
兵庫県糖尿病療養指導士(CDE兵庫)
特定保健指導における運動指導担当者
(実践的運動指導者)

【学歴】

1988年:
神戸大学医療技術短期大学部理学療法学科 卒業

【職歴】

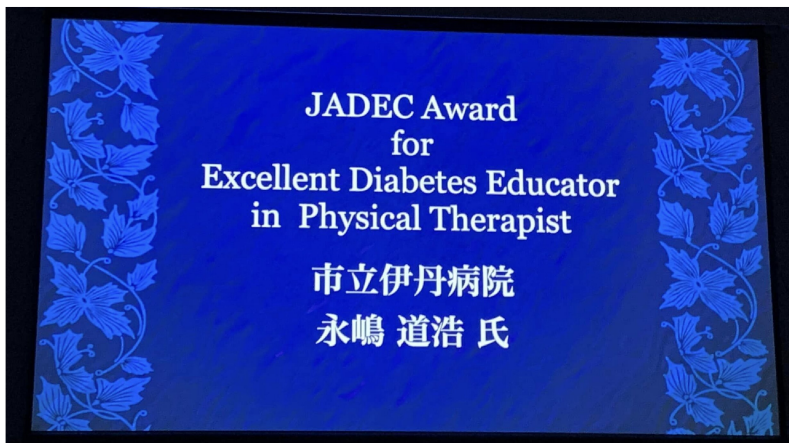
1988年:
市立伊丹病院リハビリテーション室 入職
2020年~:
市立伊丹病院医療技術部医療技術室
リハビリテーション担当 主幹

【学会等での活動】

1997~2000年:
兵庫県理学療法士会 東阪神ブロック長
2010~2019年:
兵庫県理学療法士会 選挙管理委員長
2021年~:
兵庫県理学療法士会 理事
日本糖尿病理学療法学会 理事
糖尿病療養指導士兵庫県連合会 常任理事
2022年~:
日本糖尿病療養指導士認定機構 認定委員

【賞罰】

兵庫県理学療法士会
奨励賞(2017年)、功労賞(2017年)
日本理学療法士協会
協会賞(2023年)



受賞コメント

このたび、日本糖尿病協会賞(理学療法士部門)を賜り、身に余る光栄で御座います。また、このように士会だよりで御紹介頂き、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

私が糖尿病に興味を持つきっかけとなったのは、35年程前、理学療法士になりたての頃に担当した、小児1型の子供達との関わりで御座います。当時の私は、糖尿病に関する知識も経験も乏しかったのですが、この子達の未来のために、少しでも役に立ちたいと思い、私なりに糖尿病に関して勉強し、臨床の力を身につけてまいりました。

このような歩みの中で、昨年同賞を受賞された井垣 誠先生(公立豊岡病院)をはじめとする糖尿病に関わる理学療法士の方々や、兵庫県において糖尿病に携わっている他職種の方々など、多くの人たちとの出会いがあり、地域における糖尿病対策推進に関する活動に関わらせていただくこととなりました。

今後も、上記活動及び糖尿病理学療法の実現に寄与すべく尽力させて頂くとともに、次世代へのバトンもしっかりと渡していきたいと考えております。

10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む
総合リハビリテーション学部

理学療法学科
● 理学療法士国家試験受験資格
● 健康運動実践指導者認定試験受験資格
※指定科目の単位修得者が取得できる資格

作業療法学科
● 作業療法士国家試験受験資格

総合リハビリテーション学研究科
大学院 修士課程・博士後期課程

神戸学院大学 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
有瀬キャンパス TEL(078)974-1551(代表)

医療で社会をつなぐ
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園
宝塚医療大学
TUMH TAKARAZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL AND HEALTH CARE

〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ヶ丘1
0120-00-1239

宝塚医療大 検索
http://www.tumh.ac.jp/

理学療法学科 ■ 柔道整復学科 ■ 鍼灸学科

PTSからPTになって思うこと



東播磨支部
大久保病院
藤田 悠生

私は学生の頃に目の前の患者様をいかに変化させることができるかを常に考えて理学療法を提供しないと患者様の状態は良くならないし、満足感も得られないということを教わりましたが、学生の段階ではあまり実感することができませんでした。しかしPTになり実際に患者様を一人でらせていただくようになって、患者様に「リハビリ室に来た時と何も変わらないな」と思われれば、もう自分は担当させてもらえないのではないかと焦りを覚えるようになりました。先輩が診れば患者さんは良くなるけど、自分が診ると何も変わらないということがあり得る「臨床」に出て、改めて自分のスキル・知識を日々磨いていかないといけないなと痛感しました。また、患者様にも話が好きな方や運動が苦手な方など様々なキャラクターがあるため、それぞれの患者様にいかに満足して帰っていただくかも考えて理学療法を提供しなければなりません。

私は、以上のようなことを考えながら、患者様から「また担当してもらいたい」と思われるよう日々精進してまいります。



神戸西支部
ユニバーサル訪問看護ステーション
リハ・リハ
菅 将真

私は現在、訪問看護ステーションに配属になり、日々利用者様と向き合う日々を送っております。

過去の病院実習で、私が一番に感じたことは「この患者様は自宅に戻ってどのような生活を送っているのだろうか」ということでした。その思いは消えることなく就職活動の際、在宅を中心に活躍できるような職場はないだろうかと思い、今の会社に就職を決めました。

入社して約3ヶ月が過ぎた今、特に思うことは「在宅で関わることは難しいなあ」ということです。疾患の知識やプログラム作成、環境設定、他職種連携、介護保険の知識など覚えることは多々あり、日々勉強の毎日です。

今は新人のPTですがその状況に甘えず学生時代に学んだこと、実際に働いていて感じたことなどを活かして昨日の自分より少しでも成長できたと思えるように日々を過ごしていきたいと思います。

この度はこのような貴重な機会を頂きありがとうございました。



阪神南(尼崎)支部
尼崎中央病院
井上 大輝

PTSからPTになり思うことは臨床での必要な知識と学生時代の勉強は異なるということです。

私は、学生時代に基礎的な知識を学び、身につけたため臨床で上手くやって行けると思っていました。しかし、臨床では疾患を治療することよりも、1人の患者様を治療することが最も大切だと日々の業務で痛感しました。

学生時代の勉強は、解剖学や疾患の基礎的な知識を学ぶことで、臨床に出た際に様々な容態を呈している患者様に、医療を提供していく手段を学ぶことでした。

しかし、今現在必要な能力は患者様との信頼関係を築くことや容態をカルテから読み取る能力、他職種の方々と情報共有・わからないことを先輩に相談すること、ホウレンソウを行うことだと思います。

患者様一人一人考え方や目指すゴールが違うことから、私と患者様の思うゴールがかけ離れてしまうとうまく理学療法が進行しなく、良い結果が得られないことから、疾患を見るということ以上に患者様を見るのが大切だと痛感しました。



神戸東支部
神戸リハビリテーション病院
友藤 伊吹

私は、理学療法士になってから「責任」を感じるようになりました。新人だということは患者様には関係なく、一人の理学療法士として元の生活に戻るために必要な動作の獲得や、適切な治療を展開していく必要があると考えようになりました。また、患者様に合わせた治療を考え、展開していくことで少しずつ良くなっていくところにやりがいを感じるようになりました。学生の頃は、評価から得た問題点に対して治療を行う体験をしましたが、指導者の治療時間内の数分間のみで、治療効果があったのかわかりませんでした。しかし、現在は自身が考えた治療で患者様が良くなっていくのを実感できるため、楽しくやりがいがある仕事だと感じています。

これから患者様に信頼していただける理学療法士になり、患者様の生活をより良いものにするサポートができるようにしたいです。そのために、自己研鑽を怠らず先輩方にも相談しながら努力していきたいと思っています。



北播磨・丹波支部
栄宏会小野病院
岩 柊斗

私はPTSからPTになって、患者様自身を見る事がより大切であると実感しています。学生の頃は、「機能低下のある所を治さない」という思いが強く出てしまい、その方の疾患・症状といった外見的要素から教科書に沿ったプログラムを立案・実施していました。しかし、実際に患者様を担当し治療するようになり、知識だけでは足りないという事を実感させられました。その方の生活・交流・好きな事等、外見だけでなく内面もしっかりと見て、幅広く患者様を理解する事で理学療法士として患者様と向き合えると思います。今はまだ知識面はもちろん、患者様とのかかわり方において悩む日々ではありますが、同じ職種の先輩・他職種の方々と積極的に意見交換を行い、患者様・家族様の希望に沿ったリハビリを、自信を持って提供していきたいと思っています。

そして、退院時には「あなたにリハビリをしてもらえてよかった」と心から言って頂けるよう、日々精進していきます。



中播磨支部
石川病院
曽根 健斗

PTSからPTとなり約4か月の時が経ちました。少しずつ業務や病院の雰囲気にも慣れてきて、理学療法士として働くことができている充実感を感じることもあれば、自分は日々成長できているのか不安になったりする毎日を送っています。

そんな日々の中、理学療法士として働く「責任」について考えることがあります。学生と大きく違うことは、受け身ではいけないということです。学生時代は与えられた課題や試験など学びの機会が与えられていましたが、今はそうではありません。

特に1年目は分からないことだらけなので、業務内容やリハビリの内容で困ることがあれば積極的に先輩や指導者に相談することや、自分で調べる力をつけることが必要です。患者様は担当のPTを選ぶことはできないので、「自分は1年目だから」という言葉に甘えるのではなく、1年目としてできることを精一杯するという気持ちが大切であり、今の自分が理学療法士として働くことの「責任」であると思っています。



～精鋭の教員陣による人間教育～
リハビリテーション学部
理学療法学科

神戸国際大学
リハビリテーション学部／経済学部
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6
TEL: 078-845-3111(代表) FAX: 078-845-3200



リハビリ訪問看護ステーション部 アスリートサポート部 ソーシャルメディア広報部

Steps
想いをカタチに

予防医療部 ウイメンズヘルス部 ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754
〒652-0033
神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所
〒655-0013
神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203

第34回兵庫県理学療法学会 子ども同伴に関するアンケート結果

去る6月25日に行われました兵庫県理学療法士学会では子ども同伴での参加が可能でした。子どもと一緒に来場された会員(以下利用者)は8名でした。利用者及びそれ以外の会員(以下一般参加者)にアンケートを行いました。回答いただきました会員の皆様、ありがとうございました。以下、アンケートの結果です。是非、ご一読ください。

利用者対象アンケート(回答数7)

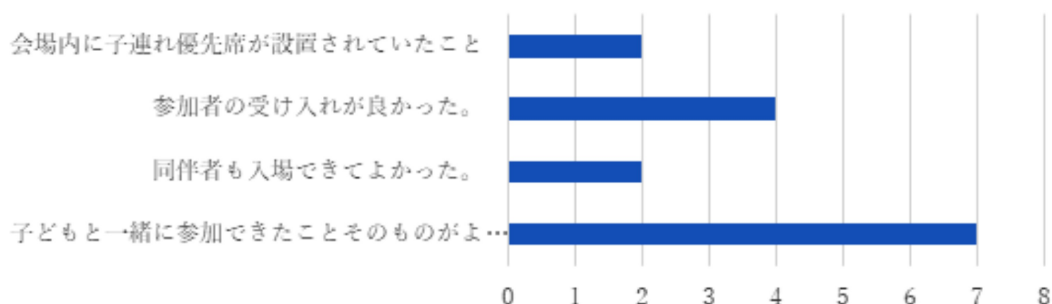
- 性別 女性2名、男性5名。
- 一緒に来られたお子様は？
中学以上のみ1名。幼児のみ3名。幼児+小学生、幼児+乳児、乳児のみ各1名。
- 同伴者は？ なし2名。 配偶者3名。 親1名。 配偶者+親1名。
- 子どもと一緒に来られた理由は？



その他：夫婦でPTで学会に参加したかったので。
共働きでも社会参加ができるという世間や国に向けてのアピールのため。
子どもも気軽に参加できる学会が当たり前になるような実績を作るため。

- どのように利用しましたか？
ポスター会場のみ子どもと一緒にいった 2名。
子どもと一緒に聴講した 5名。

- 開催中も含めよかったと思うところは？



その他：塗り絵、参加した先生？から光る棒もらった。

7. 開催中も含めよくないと思ったところは？

特になし 4名。

待機する場所がなかった 2名。

子連れ優先席については素晴らしいと思ったが、出入りしやすいように入口付近のエリアを増やすといいと思った。

8. 次回以降の学会の場所でも設備として必要なものは何ですか？

子ども遊ぶ部屋 6名。

授乳室 2名。

託児スペース、大阪府士会はあります。

9. 改善すべきところはありますか？

- ・会場内の子連れ優先席は、後ろの1列より、出入り口に近い端の数列だと、よりありがたいと思いました。
- ・スタンプラリーや運営スタッフから子供に向けて声かけがあるとまた次回も参加しようとなる。
- ・予算的に難しいかもしれないが託児所があると嬉しい。託児所については、ある程度預ける側に負担金があっても良いと思う。

10. 利用してよかったですか？



12. 他の研修会でも行ってほしいですか？



11. また利用したいですか？



医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。

その夢を叶える学校です。

神戸医療福祉専門学校中央校

【介護福祉士科】【鍼灸科】【精神保健福祉士科】

〒650-0015 神戸市中央区多摩通2丁目6番3号
URL: <https://www.kmw.ac.jp>

神戸医療福祉専門学校三田校

【理学療法士科】【作業療法士科】【言語聴覚士科】
【栄養食生活科】【看護福祉士科4年制】
【鍼灸療法士科】【整形外科】【整形外科1年制】

〒669-1313 三田市福島501-85
URL: <https://www.kmw.ac.jp>

姫路医療専門学校

【作業療法士科】【言語聴覚士科】【臨床工学技士科】
【看護福祉士科】

〒670-0927 姫路市影前町27番2
URL: <https://www.hmc.ac.jp>

より実践的な
多職種連携「iVW」が学べる、
新たな兵庫医科大学へ

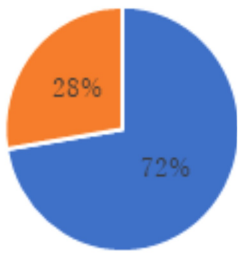
なりたい医療人
なりたいか。

2022年4月開設
薬学部 | 看護学部 | リハビリテーション学部
医学部を擁する西日本最大級の医系総合大学に。

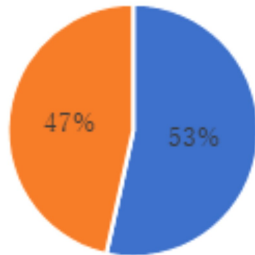
兵庫医科大学

一般参加者対象アンケート(回答数58)

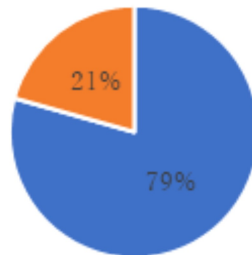
1. 性別



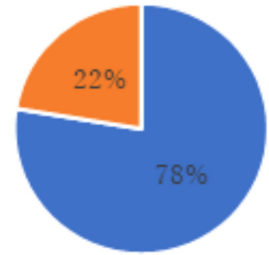
2. 家族構成



3. 利用している子供をみましたか？



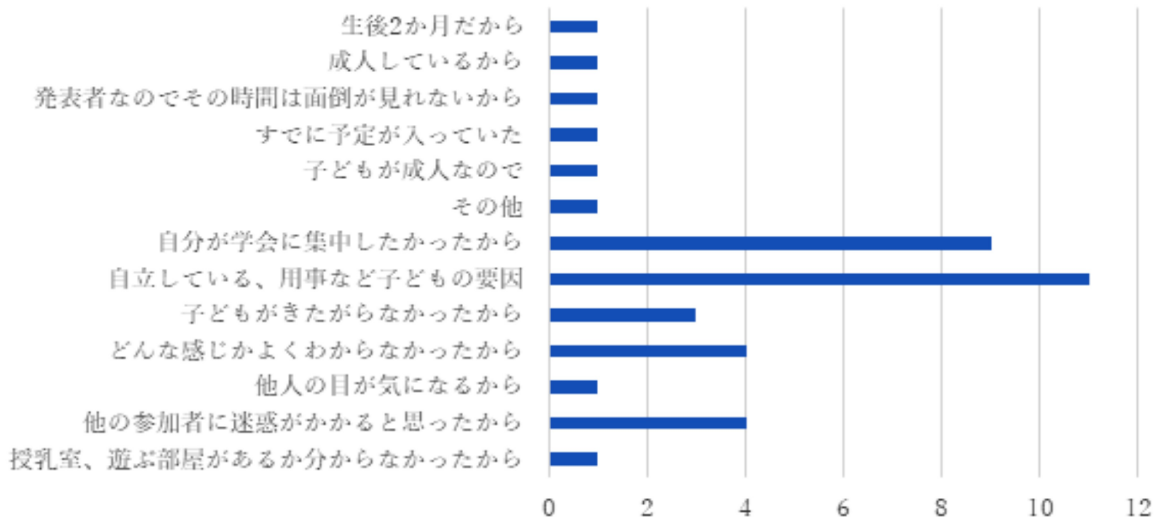
4. 子供と入場できることを知っていましたか？



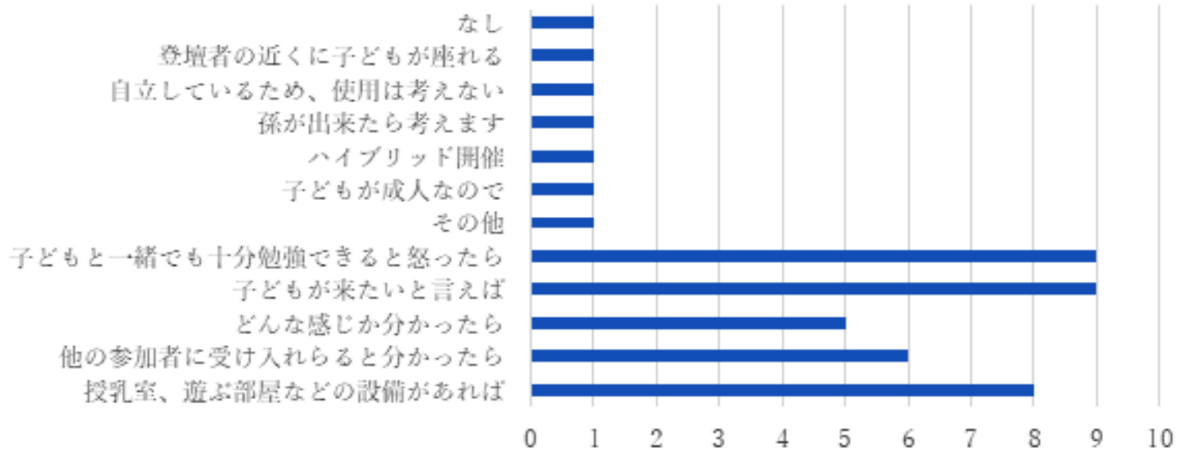
■ 男 ■ 女 ■ 子どもがいる ■ 子どもがいない ■ 見た ■ 見なかった ■ 知っていた ■ 知らなかった

5. 子どものいる方だけお答えください。(かつ入場できると知っていた人に対して)

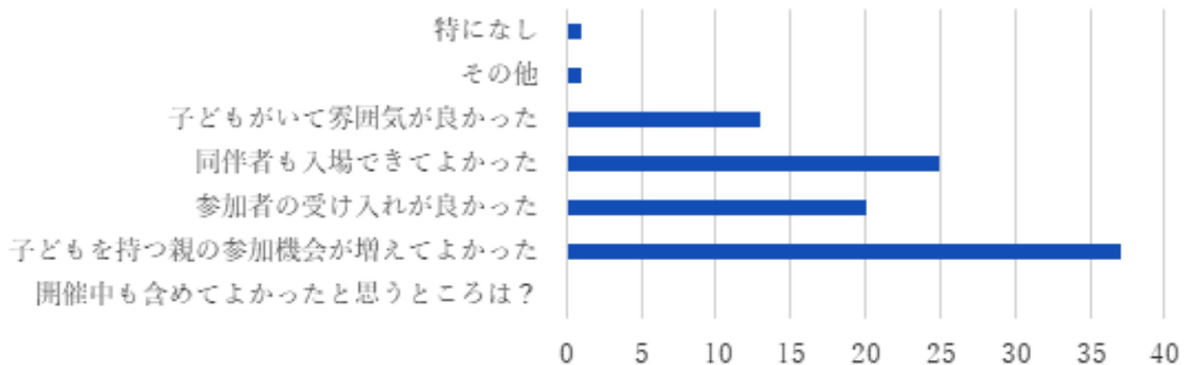
a. 子どもと一緒に来場しなかった理由は？



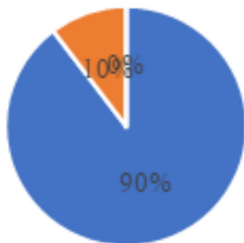
b. どのようになれば利用しますか？



6. 開催中も含めよかったと思うところは？

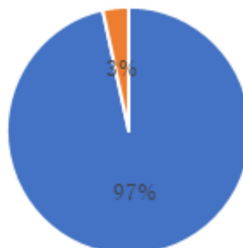


7. 開催中、デメリットを感じましたか？



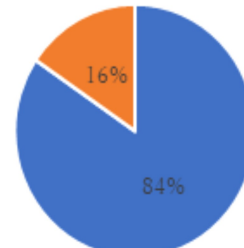
■ 感じなかった ■ 感じたが許容範囲
■ 感じた

8. この取り組みを続けていいと思いますか？



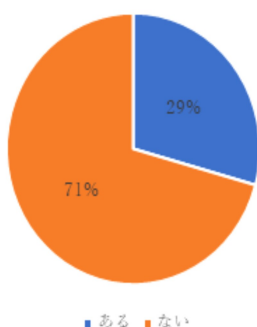
■ はい ■ 検討が必要

9. 他の研修会でも行っても良いと思いますか？



■ はい ■ 検討が必要

10. 学会や研修会でこの取り組みを続けていくために改善したらいいと思う事がありますか？



■ ある ■ ない

その他

- ・ 託児所の設置。
- ・ 具体的な内容は、よくわかりませんが、子育て世代の会員が望んでいることを幅広くリサーチする必要があるのではと思います。
- ・ 子どもが飲食したり休んだりできる控え室のような場所の確保が必要。
- ・ ベビーカーを置ける場所を設ける。
- ・ ハイブリッド開催が最善策と思います。
- ・ 早い段階からの広報があれば定着しています。
- ・ 今回の会場は広く、ベビーカーなども移動が容易だったと思います。場所によっては子供連れの方が居心地悪くなってしまいう環境もあるかもしれません。
- ・ 保育スタッフも欲しいです。
- ・ 参加者だけでなく、発表者が子連れでもいけるような仕組み作り。
- ・ 案内と取り組みの継続。
- ・ 出入り口に近い場所に優先席が設けてあるのが良かったと思います。
- ・ 子供連れのための催しものがあれば。
- ・ 子供連れ参加者の満足度を上げる取り組みや体験者からの綿密な聞き取り調査が必要と思います。せっかく取り組んでも親が2度と連れてこないと感じたら全てが無駄になるから。

アンケートの結果から、利用者からも一般参加者からも概ね好評だったことがうかがえます。会員の活動参加機会を増やす好材料になればと考えます。

男女共同参画推進委員会

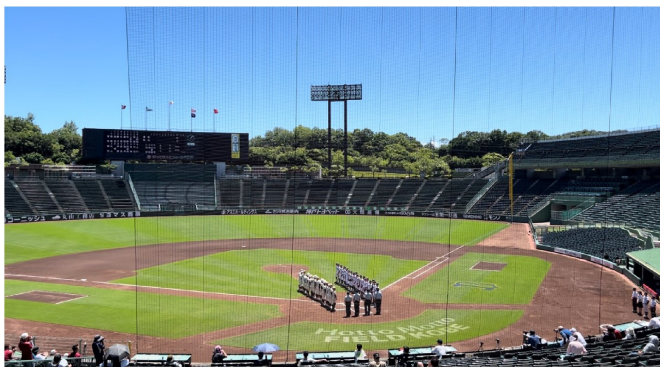
各部だより

スポーツ活動支援部

第105回全国高校野球選手権記念兵庫大会メディカルサポート

野球班 佃 美智留

2023年7月1日(土)より第105回全国高校野球選手権記念兵庫大会が開催され、社高校が2年連続の優勝を飾り甲子園出場を決めました。準々決勝以降の7試合において、31名の先生方にご応募いただきメディカルサポートを行いました。新型コロナウイルスの影響により数年活動が制限されておりましたが、昨年よりサポート活動が再開され、今大会は初参加の方にも多くご参加頂きました。徐々に感染対策による制限が緩和されつつありますが、引き続き感染対策に留意しながらの熱中症予防や対応、怪我の応急処置、投手のアイシング等のサポートを行いました。記録的な猛暑で例年よりも熱中症への警戒が高まる中、今後も安全な大会運営に貢献できるよう理学療法士が求められる役割に責任を感じながら活動したいと考えます。



【勉強会参加者の感想】

この度、第105回全国高等学校野球選手権兵庫大会のメディカルサポートに参加させて頂きました。私自身、スポーツ現場は初めてでしたが、普段勤務しているときには感じることはできない現場の雰囲気を感じることができ、とても刺激的でした。初参加となりましたが先生方のご指導の下、応急処置対応や試合後のアイシング方法などを教えて頂きました。これらを把握することが現場において迅速かつ選手が安心してプレーを行うことのできる環境作りとして大切なことだと思いました。また、現場では場合によって選手に対して迅速な対応が求められることを知りました。今後も選手に寄り添った丁寧な対応を心掛けていきたいと思えます。

東田 隆志(つくだ整形外科)

スポーツ活動支援部のサポートには日頃スポーツ選手に関わる事のない病院、介護施設勤務の理学療法士も多く参加していただいています。スポーツ活動を支援するサポートスタッフに興味のある方は、QRコードまたは兵庫県理学療法士会HPにアップされる「現場活動のお知らせ」、「勉強会のお知らせ」に是非お申込み下さい。皆さんとスポーツ活動のサポートができることを楽しみにしております。

(申し込み先)スポーツ活動支援部 中西 拓也

e-mail:supokatsu2008@gmail.com



各部だより

災害対策部

令和5年度第1回研修会報告

災害対策部 甲斐 真紀子

2023年7月5日、災害対策部では令和5年度第1回研修会を開催致しました。あの西日本豪雨災害から、ちょうど5年経過する節目ということもあり、『西日本豪雨災害における、現地活動本部と支援チームの活動について』というテーマで國安 勝司先生(川崎医療福祉大学リハビリテーション学部長)をお招きし、オンライン(ZOOM)でご講義頂きました。当日は19時開始の研修会でしたが、200名を超えるご参加を頂きました。

【参加者の感想】

私自身が1995年の阪神・淡路大震災を神戸市(当院は病院が全壊し職員1名が圧死)で、2011年の東日本大震災を東京都で経験し災害の恐ろしさを覚えているはずですが、正直、月日が経つにつれて恐ろしさが薄れております。その為、災害に関する研修会があるたび参加を検討し薄れていく気持ちを少しでも留めておき、災害についての準備を行っております。今回は兵庫県理学療法士会災害対策部の第1回災害リハビリテーション研修会に参加させて頂きました。岡山JRATの設立準備ができていないが立ち上がって間もない中での発災についての内容はとても印象深く、緊張感が伝わってきました。CSCATTTIにおけるC(Command&Control)をどう整えていくかは常々不安に思う部分があり、自分が発災時にCを担う立場でなかったとしても、Cを知っておかなければS(Safety)、C(Communication)、A(Assessment)に繋げていけないと感じています。今回のご講義では、岡山JRATが手探りで活動をつづけながら、指示命令システムの整備が不十分のため何かと後手に回ってしまったことで得た経験について、ありのまま教えていただいたことが私にとって何よりの学びであり、CSCAを改めて考えるきっかけとなりました。近年、豪雨災害は身近に増えています。幸いにも、当院のある地域で豪雨災害規模のことは起こっていませんが、2018年の豪雨災害の時には当院がある東灘区内でも土石流が発生するなど、兵庫県に近い場所で豪雨県内でも災害が生じているので、支援についての知識も深めていく必要があると感じました。

喜田 直樹(医療法人 明倫会 本山リハビリテーション病院)

参加者の事後アンケート結果でも、紙面上の勉強だけではなく、現場の状況、JRATの実際の活動を知ることができて勉強になったという意見が多く聞かれました。アンケートを記載して頂いた喜田先生も記載されていましたが、研修会当日も雨が降り、北九州で豪雨が発生するなど、近年局地災害も増えております。國安先生もご講義の中で西日本豪雨は局地災害だったので、他府県からの応援を要請しながらJRATとして対応することができたが、広域災害では同じようにはいかないだろうとお話しをされていました。災害対応は平時からの準備が大切です。かといって、自ら災害対応を経験したという方は少なく、どのような準備が必要か、どのような知識が必要かということは、対応を経験された先生方から成功も失敗も含めて学ばせて頂き、個人として、勤務先として、兵庫JRATとしてどう備えていくべきか、準備を進めていくことが大切だと考えております。

そして、局地災害のみならず、広域災害の際は他府県JRATと連携しながら活動できる体制づくりも必要になってくるでしょう。他府県から講師をお招きし、全国の理学療法士にも参加頂くことで、他府県JRATとの顔の見える関係づくりをしていくことも、有事の際の備えだと考えております。災害対策部ではオンライン、対面での研修会を年3回程度開催しております。次回は9月13日(水)19時半～を予定しております。次回は兵庫JRATの体制についてお話頂きます。兵庫県のJRATがどのように組織され、有事の際はどのように活動していくか、一緒に学びませんか？是非多くの方にご参加頂けると幸いです。

INFORMATION

こども生涯支援部研修会のお知らせ

今年度も障害のある方やそのご家族、教育・福祉関係者などの方を対象に公開研修会を開催します。下記の研修会をテーマに、在宅・地域医療の分野でご活躍されております、医師の医療社団法人オレンジ 理事長 紅谷 浩之先生にご講演を頂きます。地域で過ごされている障がいのある子どもたちとそのご家族様の話を中心に、全ての方が幸せに暮らせる社会へのお話しをして頂きます。皆様の考え方や生活のお役に立てて頂ければと思います。

皆様のお申し込みをお待ちしております。

- 日 時 : 令和5年10月8日(日)13:00 ~14:30
開催形式 : Zoom でのオンライン配信
テ ー マ : 「幸せに自分らしく生きていくことを支えるための地域づくり
まちづくり」
対 象 : どなたでも参加可能
定 員 : 制限なし
履修ポイント : 登録理学療法士更新ポイント 1.5ポイント
カリキュラムコード 7「地域リハビリテーション」
認定・専門療法士更新の点数 1.5点
参加費 : 無料
申し込み方法 : チラシ、兵庫県理学療法士会ホームページ、HPTAインフォメーションサービスにてご確認下さい

こども生涯支援部福祉機器展示会のお知らせ

今年度も障害のある方やそのご家族、教育・福祉関係者などの方を対象に福祉機器展示会を開催します。車椅子・バギー・座位保持装置・立位台・歩行器・コミュニケーションエイド・食事用具・玩具等、幅広い展示を行い、来場者の方々に実際に見て・触れて・体感して頂く機会にしたいと考えております。利用者様への福祉機器の選定など、より良いものを提供できる機会になればと思います。皆様の参加をお待ちしております。

- 日 時 : 令和5年11月25日(土曜日)10:00~16:00
開催場所 : 神戸市立いぶき明生支援学校
対 象 : どなたでも参加頂けます

詳細は、後日連絡いたします兵庫県理学療法士会ホームページ、HPTAインフォメーションサービス、チラシにてご確認下さい。

会長 行動録

- 6月16日 沖山理事と会談
- 6月19日 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会第1回運営委員会出席
- 6月20日 「multi-morbidity(マルチモビディティ)患者のためのリハ専門職の養成」事業打ち合わせ会議出席
- 6月21日 全国の士会長が集まる会議出席
- 6月22日 「multi-morbidity(マルチモビディティ)患者のためのリハ専門職の養成」関係者会議資料調整
- 6月24日 第34回 兵庫県理学療法学会大会準備および講師接待
- 6月25日 第34回 兵庫県理学療法学会大会講演
- 6月25日 「multi-morbidity(マルチモビディティ)患者のためのリハ専門職の養成」関係者会議に出席
- 7月03日 谷公一衆議院議員政経パーティー出席
- 7月03日 公明党政策要望懇談会出席
- 7月03日 関よしひろ衆議院議員政経パーティー出席
- 7月04日 「multi-morbidity(マルチモビディティ)患者のためのリハ専門職の養成」事業呼吸器研修会議出席
- 7月06日 令和5年度定時総会資料準備総会資料について最終の調整を行った。
- 7月06日 山本、木澤、小森、小山理事と会談
- 7月09日 令和5年度定時総会出席
- 7月09日 理事会会出席
- 7月19日 拡大理事会資料作成
- 7月20日 山本、小森、木澤、小山理事と会談
- 7月21日 拡大理事会出席
- 7月21日 「multi-morbidity(マルチモビディティ)患者のためのリハ専門職の養成」事業呼吸器研修会講師調整
- 7月26日 岩田理事と相談
- 8月04日 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会幹事会出席



女性だから、できるケアがある。
女子大学で、女性のための理学療法を学び、リーダーシップがとれる理学療法士へ。

看護リハビリテーション学部
理学療法学科

甲南女子大学
〒658-0001 神戸市東灘区森北町 6-2-23

理学療法学科公式サイト
理学療法学科公式 Instagram



医療系 3 学科
病院を母体とする医療の総合教育校

- 診療放射線科
- 臨床工学科
- 視能訓練士科
- 理学療法士科
- 作業療法士科
- 言語聴覚士科
- 歯科衛生士科
- 臨床工学専攻科

Since 1973 医療法人社団 慈恵会
KOC 神戸総合医療専門学校
〒654-0142 神戸市灘区友が丘7丁目1番21

HP <https://www.kobecc.ac.jp>
神戸総合医療 検索
お問い合わせはこちら TEL. 078-795-8000 (代表) 078-795-8100 (入試・広報係) スターツフォンはこちら



兵庫県で
活躍する
理学療法士
～数珠つなぎ～

クリオ訪問看護
リハビリステーション
小林 希氏



略歴 & 職歴

2016年3月
甲南女子大学
看護リハビリテーション学部
理学療法学科 卒業

2016年4月
医療法人社団 南淡千遙会
神戸平成病院 入職

2020年12月 退職

2021年1月
株式会社ピュア・クリオ
クリオ訪問看護・リハビリステーション入職

趣味
旅行

私は以前、神戸平成病院の一般病棟に勤めていました。そこでは呼吸器や内部疾患など、様々な疾患に対してリハビリ業務を行っていました。ここでは主にリスク管理や在宅復帰に向けての環境設定を学ぶことができました。勤務3年目には、訪問リハビリの部署が院内に開設され配属されました。これにより入院中だけでなく、退院後の生活まで途切れることなく患者様を支援することができるようになりました。

病院での訪問リハビリに従事する中で、一人一人の生活様式や生活リズムに合わせたリハビリに楽しさを感じていました。しかし、より多くの患者様が終末期を在宅で過ごせるように支援したいという思いが少しずつ強くなりました。また難病や神経疾患、終末期の支援により深く携わりたいと感じるようになり、クリオ訪問看護リハビリステーションへの転職を決意しました。

訪問リハビリは、一人の患者様に何年も長く関わることもあるため、単に身体機能やADL能力の向上を図るだけではいけません。在宅生活が継続できるように、その時々合わせた環境設定やリハビリの提供を心がけています。また患者様や家族様の気持ちに寄り添い、「自分らしさ」を支援できるように日々努めています。患者様の生活は、一人一人違うからこそ難しさがありますが、その一方でリハビリの楽しさを実感し、充実した日々を送っています。

次は神戸百年記念病院でリハビリテーションに従事されている村岡潮美さんにお繋ぎします。

表紙写真

令和5年度、兵庫県理学療法士会の表彰にて、県士会事業における「功労賞」2名、「奨励賞」24名が表彰されました。今後もたくさんの士会員の方に士会事業を盛り立てて頂けますと嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくお願ひします！

県士会だより 第201号
発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者／間 瀬 教 史
編集者／筒 井 章 悟

ホームページ
<http://hyogo-pt.or.jp/>



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階
TEL 078-367-7311